

松本短期大学同窓会会報

2021年度号

発行：松本短期大学同窓会
発行日：令和3年7月
印刷所：電算印刷株式会社



母校創立50周年を 祝う

同窓会長 手塚富喜子

会員の皆様には、新型コロナウイルスの終息はおるか取東もままならぬ昨今、職場はもちろん家庭でも神経をお使いのことと推察しております。そんな中、私達の母校、松本短期大学は創立50周年を迎えることができました。

50年の間には、介護福祉学科や専攻科、看護学科が増設され、大きく発展してきました。会員の皆さんにとっても青春時代を過ごしたそれぞれの思い出をお持ちのことと思います。同窓会では50周年を祝し、大学歌の制定、記念誌の発行の為に支援を行いました。さらに校旗の製作も予定しております。ただコロナ禍のため、記念の式典は行うことができません。同窓生皆で祝う機会をもてない事は大変残念です。

この会報がお手元に届く前に50周年の記念誌が届いていると思います。母校の50年を振り返って懐かしんでいただければ嬉しく思います。そして、これからも母校の発展の為に同窓会へのご協力をよろしくお願い致します。

尚、すでに皆さんもご存知だと思いますが、令和3年3月をもって専攻科が閉科となりました。そして、看護学科は4月より松本看護大学として4年制の大学へと移行しました。短大看護学科も2年後には閉科になりますが、先輩として看護大学卒業生の指導にあたっていただき、引き続き看護大学も盛り上げていただきたいと思っております。

最後に50周年記念事業に際し2年に渡り寄付をお願いいたしました所、延べ80名の方から貴重なご寄付をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。



松本短大創立50周年

松本短期大学学長 木内 義勝

幼児教育学科からスタートした松本短期大学は、今年で50年目を迎えます。予定していた50周年の祝賀会は、コロナ禍のもとでは残念ながら難しくなりそうですが、同窓会の皆さま方の物心両面にわたる多大なご援助によって、立派な記念誌が出来上がりました。

数年前から、この記念すべき年に向けて、記念誌のほかに校歌の制定、校旗の製作など、同窓会からは多額のご寄付と応援をいただいたことに、心からお礼を申し上げます。同窓会の皆様方の大切な浄財を、このような意義ある形で後代へ継承できるようにしていただいたこと、誠にありがとうございます。特に忙しい中からご苦勞をいただいた手塚同窓会長ならびに同窓会役員の皆様方に、深甚の謝意を表したいと存じます。

今年の4月には、短大が築いた今までの実績に根を置き、松本看護大学が創設されました。以前には、介護福祉学科、看護学科が、やはり先行した幼児教育・保育の学生、教職員および同窓生が築いた実績の後押しを得て設立されました。

50年というのは、単なる時間的な経過を示すものではありません。その流れの中には、松本短大の学窓を飛び立って仕事の場に就いた3学科それぞれの卒業生の、喜怒哀楽に満ちたご苦勞とご努力が染み込んでいます。私たちは、「たしかな技とあたたかい心」を常に保ちながら、それぞれの分野で周りの人を幸せにする仕事を続けていかなければなりません。AI（人工知能）がいくら浸透しても決しておかされない人間相手の仕事を、これからも誠実に営んでいくことが、これからの50年を目指す私たちに求められていると同時に、そのことがとりもなおさずこの学園で学ぶ現役学生への最大の応援歌になるのだと思います。

祝 母校創立50周年

母校松本短期大学が今年50周年を迎えました。同窓会ではこれを祝し、大学歌の制定、記念誌の発行に協力、支援を行いました。



多くのご寄付ありがとうございました。

コロナ禍で大変な中、2年間にわたりご寄付をお願いしたところ、多くの方からご協力いただきました。感謝申し上げます。

寄付者御芳名 (2019年度) ※順不同、敬称略 自動振込みの為カタカナ表記になりましたことをお詫び申し上げます。

テツカ フキコさん	トバ スズコさん	ヨシダ マサコさん	ウスイ ミハルさん
ハギワラ セツコさん	ヒラノ テツナリさん	タケイ カズエさん	コマツ フキヨさん
タナカ キミコさん	バンザイ ミホコさん	タカヤマ リエさん	ミヤザワ リカさん
ハナサト ユミさん	ハヤシ ノリコさん	ヤマヂ エツコさん	オオツキ ミチヤさん
ナカムラ マサエさん	シンドウ ミヨコさん	ウエハラ ユリさん	ニシカワ サトシさん
ハラ サユリさん	セキヤ ナオミさん	テツカ シュンさん	ウスイ ヒロヤさん
シミズ ヒトミさん	タケムラ シゲエさん	ハヤシ カオリさん	イワモト スミコさん
アガツマ マユカさん	トツカ カズコさん	オグチ キョウコさん	オクハラ アキコさん
トウジョウ カズコさん	ナカムラ カヨコさん	ナカムラ フミコさん	ナルタ エイコさん
イトウ ノリコさん	ヨシダ カヨさん	ナカムラ タカコさん	ヤザワ ヨリコさん
ヤマダ ユキコさん	ナカヤ ケイコさん	マツダ トクコさん	フジモリ ナガコさん
アベ サトミさん	モチヅキ クミコさん	モチヅキ トミコさん	フジサワ キクエさん
ヨシダ タカヒロさん	ヨシダ サチカさん		

寄付者御芳名 (2020年度)

テツカ セイコさん	ヤスムラ ミチコさん	キムラさん	ソヤマ チホさん
ヒラノ テツナリさん	トバ スズコさん	ミムラ サトミさん	タキザワ ナミさん
ナカムラ エリさん	ハタヤ ヒデコさん	モチヅキ トミコさん	テラシマ スミさん
オクハラ アキコさん	ヤマカワ サホさん	タナカ キミコさん	ワカバヤシ キヨコさん
ヤマダ ショウコさん	バンザイ ミホコさん	ヨシダ カヨさん	マスザワ エリさん
オノ ケイコさん	ナルタ エイコさん	ハヤシ ノリコさん	アガツマ マユカさん
タカギ カズミさん	イトウ ノリコさん	イワシタ アヤコさん	ハラ サユリさん
ヤグチ ユミコさん	ハギワラ セツコさん		

幼児保育学科



令和2年度 幼児保育学科同窓会事業の報告



1 学年生98名へのパペット人形贈呈と演じ方講習

7月7日(火)

保育実習や保育現場で活用してもらおうと、例年幼児保育学科1年生に実施している人形の演じ方講習。コロナ禍の昨年は、別の形での実施になりました。通常は、学生の皆さんは途中から仕上げまで行い個性的な「自分人形」を作ってから演じ方講習となるのですが、1期生の岩井田さん率いる、「人形劇団やまんば」の皆さんによって完全制作された3種の人形の中から選び、劇団からの講習映像を使って演じ方を学んでもらいました。講習は授業として実施し、その後も学科の先生方にフォロー指導していただきました。ありがとうございました。

保育の大切な道具として、活用してほしいと思います。

令和3年度 幼児保育学科同窓会事業の予定

今年度も、未だにコロナ感染が終息していない状況をふまえ、縮小した事業になります。

■ 8期生(55年度卒)の皆さんの「40年後のホームカミングデー」の実施は今年度も見送ります。

来年こそは皆さんに集っていただけることを祈っています。

■ 幼児保育学科1年生へのパペット人形贈呈と演じ方講習 令和3年7月14日(水) 実施予定

音 楽 棟

50年の時を経て ♪

学生時代のピアノ練習というと、きまって思い出すのがあの個室での練習でしょう。ピアノがある実家から通学していて、いつでも練習できる幸せな人もいましたが、たいがいの人はこの練習室のお世話になっていたのではありませんか？ 近年では、少々歴史の香りが漂っていたようです。また、2階の音楽室もそれぞれの思い出があることでしょう。



旧音楽棟前で開設当初からお世話になっている鈴木ピアノの鈴木日出夫さんに偶然お会いし、当時の音楽教授の故丸山・奥野両先生の思い出話もお聞きしました。

音楽棟はこのほど場所も移動し、看護大学棟の隣にとっても美しくリニューアルされました。ピアノは年代物にはなりましたが、まだまだ現役で活躍するようです。

2階の音楽室もこれからの学生の音楽教育を担ってくれる建物になりそうです。機会を見つけて母校の音楽棟も見学してみてくださいね。



旧ピアノ練習室
半世紀の間、何人の学生がこのピアノを使ったのでしょうか

新音楽棟



アルペンホール



集中した練習
ができそうな
1階17個室

グランドピアノ2台がステージに乗り、とてもシックな色合いの2階音楽室



介護福祉学科同窓会 特集

第10回

「職場別相談セミナー」開催

◆職場別相談セミナーとは何か？

2020（令和2）年7月2日、介護福祉学科2年生を対象に介護福祉学科同窓会主催による「職場別相談セミナー」が開催されました。

この職場別相談セミナーは「後輩である在學生に何かできないか」という卒業生の思いから誕生した企画です。具体的には介護福祉士として働く卒業生が介護福祉士の魅力や喜び、仕事内容に加え、給料や辞めたいと思ったこと等、在學生が普段の授業や実習では聞きにくい内容も伝え、それらに対して在學生が卒業生に質問するという双方向の学びと交流を図る取り組みで、2009（平成21）年からほぼ毎年開催されています。

◆職場別相談セミナーの3つのねらい



職場別相談セミナーのねらいは3つあります。第1は卒業生が在學生の思いに応えることです。在學生からは「授業や実習ではわかりにくい介護福祉士が働く職場の実態を知りたい」「給料も含めて労働条件のことを、もっと詳しく知りたい」等の声がありました。第2は人的資源の活用です。卒業生は実際に介護福祉士として働いているからこそ身につけている考え方や知識・技術をもっています。それらの経験知は在學生に役立つはずですが、第3は双方向の学びと交流です。在學生にとっては卒業生だからこそ信頼でき、身近なロールモデルとして受け入れやすいのではないかと考えました。

◆記念すべき10回目の職場別相談セミナー

記念すべき10回目となる今回は、検温や手指消毒、換気、マスク着用等、新型コロナウイルス感染防止策を徹底するなかで実施されました。

当日は、介護老人保健施設で働く百瀬弘章さん（3期生）、介護付き有料老人ホームで働く百瀬（旧姓：大西）八代さん（19期生）、サービス付き高齢者向け住宅で働く唐木圭太さん（21期生）、訪問介護事業所で働く新井信一さん（22期生）の4名が母校を訪れ、「現在の職場を選んだ理由」「長く働き続ける秘訣」「介護福祉士として働くことのやりがい」「給料や研修等の労働環境」「後輩へのメッセージ」等について、丁寧かつ赤裸々に語りました。在學生からは「先輩たちはしっかりとした介護福祉の理念や介護福祉士としての信念を持っていた」「できないところを気にするよりも、自分の長所を活かすことの重要性を知った」等の感想が聞かれました。

仕事内容や労働条件だけでなく、介護福祉士に求められる考え方や視点も卒業生から学んだ在學生にとって、この職場別相談セミナーは、自分たちが考える介護福祉士の可能性を広げる機会になったとともに、介護福祉士を目指す自分自身への後押しにもつながったようです。



2020(令和2)年度をもって「専攻科」が閉科 これまでの歩みを形として残す 「松本短期大学専攻科記念誌」(仮称)の発行に向けて

松本短期大学専攻科福祉専攻(以下、専攻科)は、2020(令和2)年度をもって閉科しました。専攻科は、要介護者の増加等、高齢社会に対応した介護福祉専門職の必要性から1993(平成5)年度の介護福祉学科に続き、1995(平成7)年度に開設されました。これまでに286名が専攻科を修了して介護福祉士として巣立ち、介護福祉関係の施設・事業所のリーダー等、中核的な存在として活躍しています。このように、専攻科は閉科しましたが、専攻科が果たしてきた社会的な役割は実に大きいといえます。

そこで、松本短期大学介護福祉学科教職員と介護福祉学科同窓会が中心となり、専攻科の歩みを振り返る「松本短期大学専攻科記念誌」(仮称)を製作することに致しました。これまでの専攻科の歩みを振り返り、それをまとめ、形として残し、今後につなげていく取り組みは重要といえます。

つきましては、介護や福祉、医療の現場等で介護福祉士としてご活躍されている専攻科修了生の皆様方にご寄稿をお願いしたいと考えております。さらに専攻科を振り返るにあたり、当時の写真も大募集したいと思います。

寄稿や写真提供等をしていただける修了生の方は、お気軽に下記までご連絡いただけましたら幸いです。寄稿・写真については郵送あるいはメールで受け付けております。

また、松本短期大学介護福祉学科教職員や介護福祉学科同窓会から推薦という形でご連絡させていただく場合もございます。その際は、ぜひご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

寄稿・写真提供および問い合わせ先

「松本短期大学専攻科記念誌」(仮称)製作実行委員
〒399-0033 長野県松本市笹賀3118 松本短期大学
介護福祉学科 学科長 丸山順子 / 介護福祉学科同窓会 担当 福田 明
mjc-z.maruyama@matsutan.ac.jp または mjc-a.fukuda@matsutan.ac.jp

活躍する「専攻科」修了生の紹介

認知症対応型共同生活介護(認知症グループホーム)で介護福祉士として働く

2017(平成29)年度専攻科修了生 中村さつきさん

現在、私は社会福祉法人松本ハイランドゆめの里入山辺で認知症の利用者様への生活支援に携わっています。ゆったりとした生活空間のなかで利用者様と一緒に散歩や調理、野菜づくり等を行い、家庭的な雰囲気大切にしています。

また、切り絵や染め紙等、専攻科で学んだレクリエーションを個々の利用者様や季節に応じて実施し、完成した作品を地域の人たちにも見ていただく機会をつくっています。

これからも専攻科で学んだことを発揮するとともに、利用者様と地域の人たちとのつながりを意識しながら働いていきたいと思っています。



専攻科修了生の中村さんと介護福祉学科の丸山先生

松本短期大学看護学科が松本看護大学に

看護学科同窓会会長 滝沢 圭

同窓会会員の皆さん、こんにちは。今年度より看護学科同窓会長となりました滝沢圭です。私は松本短期大学の6期生で今年で看護師8年目となります。現在は相澤病院の集中ケア病棟で勤務をしております。

同窓会員の皆様は新型コロナウイルスの世界的流行で今までの生活が変わり、どのようにお過ごしでしょうか。日々の業務だけでなく、コロナウイルスへの対応もすることになり忙しく毎日を送っているのではないのでしょうか。在校生においては、なかなか実習や就職活動が進まず、息を抜く場もなく、窮屈な学校生活になってしまっているのではないのでしょうか。ワクチンの接種も始まり流行前の生活とはいきませんが、日々の生活が落ち着いてくる事を信じております。

昨年度の同窓会活動ですが、コロナウイルス対応の為なかなか活動することができず、卒業記念品の贈呈、国家試験応援として感染対策購入品の費用支援となっています。

今後の感染の動向に留意しつつ、どのような活動が出来るのか考えていければと思います。また、看護学科が4年制となり、松本短期大学看護学科同窓会の在り方についても検討していければと考えています。よろしくお願いいたします。



松本看護大学開学にあたって

学長 上條 節子

松本学園が開学し、今年で51年目を迎えます。同窓会の皆さまを初め、多くの方々の御支援を賜り今日を迎えることができました。

松本学園は、乳幼児・障害者・高齢者、そして病のある人々といった社会的に弱い立場にある人を支える地域医療・福祉の教育を行い、多くの同窓生がそれぞれの専門分野で活躍し、地域に貢献できることは最大の喜びです。

そしてこの度、社会が要求するより質の高い看護職の育成、地域で不足している看護職の供給、国が目指している地域包括ケアシステムの構築を目的として、長年の夢であった松本短期大学看護学科から松本看護大学を開学することができ、2021年4月79名（定員70名）の新入生を迎えスタートいたしました。

松本学園は、また新しい飛躍がはじまりました。教職員・全員一丸となりスチューデントファーストで地域から求められる人材の要請に応じてまいりたいと思います。

今後も更なる御支援と御指導を宜しくお願いいたします。



体育館西側に建てられた松本看護大学新校舎

同窓会 役員紹介

よろしくお願ひします

4月24日開催の定例理事会に於いて新しい役員が承認されました。



●松本短期大学同窓会役員名簿（令和3年度～令和5年度）

役職名	氏名	学 科	卒業年度
同窓会長	手塚富喜子	幼保	S47年度
名誉会長	木内 義勝		現 学 長
副 会 長	臼井みはる	幼保	S47年度
//	柳沢 佳澄	介護	H6年度
//	滝沢 圭	看護	H25年度
書記局	渡辺 涉		現事務長
//	生田恵津子	幼保	S48年度
//	進藤美代子	幼保	H10年度
//	吉田 正子	幼保	S50年度
監 事	藤森 永子	幼保	S51年度
//	百瀬 弘章	介護	H8年度
//	赤津 真衣	介護	H24年度
理 事	寺島 明子	幼保	S48年度
//	藤原 栄	幼保	S57年度

役職名	氏名	学 科	卒業年度
理 事	熊谷由美子	幼保	H7年度
//	浦沢 正也	幼保	H8年度
//	鮎沢菜津美	幼保	H28年度
//	福田 明	介護	H9年度
//	北澤 公章	介護	H18年度
//	谷澤 健太	介護	H23年度
//	百瀬 八代	介護	H24年度
//	輪湖穂奈実	介護	H24年度
//	平林 真以	看護	H25年度
//	金井 早紀	看護	H25年度
//	永瀬 友祐	看護	H25年度
//	百瀬 昂汰	看護	H25年度
//	倉繁 貴文	看護	H26年度

事務局からのお知らせ

住所、氏名変更の連絡をお願いします。

住所不明者が増えています。

住所や氏名に変更がありましたら、忘れずに母校事務局まで連絡をお願いします。

卒業学科・卒業年度・学籍番号（又は会報送付の封筒についている番号）をお伝え下さい。

連絡先：松本短期大学事務局
〒399-0033 松本市笹賀3118
電話 (0263) 58-4417(代)
FAX (0263) 58-3643



令和2年度 事業報告

令和2年

- 4月2日 母校入学式
(コロナウイルスにともなって入学式縮小の為来賓の参列なし)
会費徴収(幼保4名・介護2名・看護1名)
- 4月11日 会計監査
- 4月下旬 定例理事会(コロナ禍の為、紙面理事会を行う)
- 5月上旬 同窓会報発行委員会学科毎発足
以降発行に向けてそれぞれ活動
(6月20日 全体での発行委員会)
- 6月上旬 名簿整理
- 7月上旬 同窓会報発行
☆母校創立50周年事業として令和元年度
に引き続き寄付を集める
・会報に趣意書を同封する
・一口 3000円
・集金期間 会報発行～9月末日まで
- 8月29日 第一回、母校創立50周年記念事業実行委員会
※R3年2月までに11回開催
- 9月 「おとぎ祭」中止の為補助はなし

令和3年

- 2月上旬 同窓会入会案内配布依頼
- 3月13日 本部役員会
10:00～ 場所 松本短大
本部4名 幼保1名 介護2名
計7名出席
- 3月15日 母校卒業式(コロナウイルスにともな
って卒業式縮小の為、来賓の参列なし)
令和2年度卒業生に同窓会しおり配布

令和3年度 事業計画

令和3年

- 4月2日 母校入学式
(コロナウイルスにともな
って入学式縮小の
為来賓の参列なし)
会費徴収(幼保4名・介護2名)
- 4月10日 会計監査
- 4月24日 定例理事会 10:00～
場所 松本短大
役員改選
- 5月上旬 同窓会報発行委員会学科毎発足
以降発行に向けてそれぞれ活動
(6月中旬 全体での発行委員会)
- 6月上旬 名簿整理
- 6月 母校創立50周年記念誌発行
- 7月上旬 同窓会報発行
- 9月 「おとぎ祭」への援助

令和4年

- 2月上旬 同窓会入会案内配布依頼
- 3月上旬 本部役員会
- 3月中旬 母校卒業式参列(会長)
令和3年度卒業生に同窓会しおり配布

令和2年度 一般会計収支決算書

松本短期大学同窓会

収入の部

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	内 訳
①会費等収入	1,980,000	1,980,000	令和2年度新入生10,000×186名 前年度未納分10,000×12名
②特別会計より	0	0	
③雑収入	0	5	利息
合 計	1,980,000	1,980,005	

支出の部

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	差 額	内 訳	
(1) 通年運営費	会議費	200,000	130,405	69,595	理事会、役員会経 費、役員手当
	事務費	10,000	7,598	2,402	コピー代、用紙
	通信費	30,000	924	29,076	葉書・切手 電話代
	おとぎ祭援助金	200,000	0	200,000	未開催の為
	雑費	20,000	0	20,000	慶弔費等
	同窓会案内しおり	0	0	0	
(2) 会報発行費	発行関係費	780,000	903,906	-123,906	運営費、予備費よ り補填
	名簿整理費	10,000	10,000	0	
(3) 各学科 活動費	幼児保育学科	330,000	330,000	0	
	介護福祉学科	200,000	200,000	0	
	看護学科	130,000	130,000	0	
	手数料	2,500	1,650	850	振り込み手数料
(4) 記念事業費	50周年記念委員会	50,000	37,000	13,000	
(5) 予備費	予備費	17,500	17,500	0	会報発行費
決算額合計			1,751,483		
	特別会計繰入		228,522		
合 計	1,980,000	1,980,005			

令和3年度 一般会計収支予算書

松本短期大学同窓会

収入の部

項目	前年度 予算額	本年度 予算額	内 訳
①会費等収入	1,980,000	1,300,000	令和3年度新入生10,000×130名
②特別会計より	0	1,100,000	
③雑収入	0	0	利息
合 計	1,980,000	2,400,000	

支出の部

項目	前年度 予算額	本年度 予算額	差 額	内 訳	
(1) 通年運営費	会議費	200,000	200,000	0	理事会、役員会経 費、役員手当
	事務費	10,000	10,000	0	コピー代、用紙
	通信費	30,000	15,000	-15,000	葉書・切手 電話代
	おとぎ祭援助金	200,000	200,000	0	
	雑費	20,000	20,000	0	慶弔費等
	同窓会案内しおり	0	70,000	70,000	
(2) 会報発行費	発行関係費	780,000	950,000	170,000	
	名簿整理費	10,000	10,000	0	
(3) 各学科 活動費	幼児保育学科	330,000	130,000	-200,000	別紙
	介護福祉学科	200,000	100,000	-100,000	別紙
	看護学科	130,000	80,000	-50,000	別紙
	手数料	2,500	2,000	-500	振り込み手数料
(4) 記念事業費	校歌制作援助費	0	100,000	100,000	
	記念事業寄付	50,000	500,000	450,000	
(5) 予備費	予備費	17,500	13,000	-4,500	
合 計	1,980,000	2,400,000	420,000		